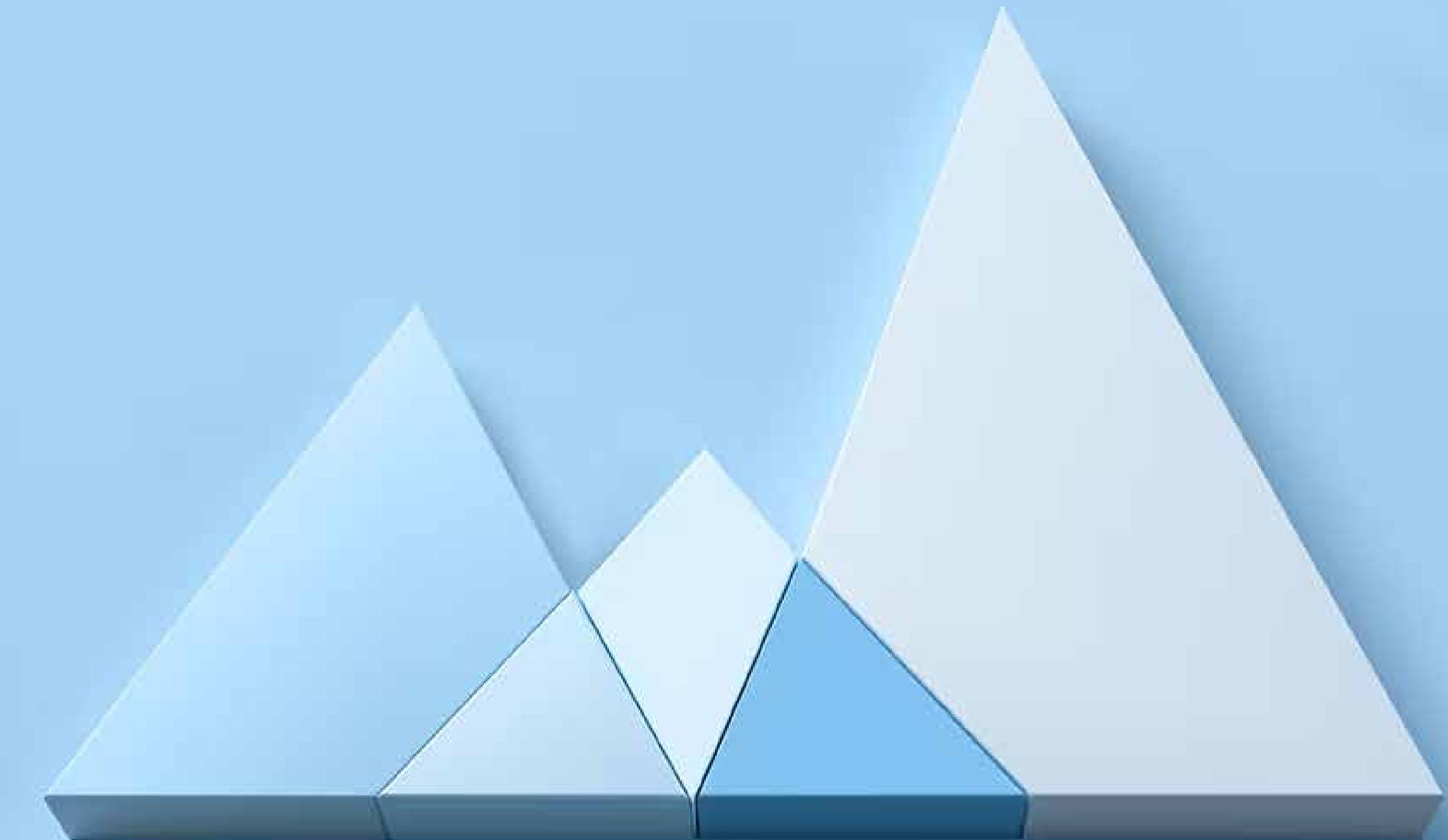


Eブック

SAPの運用をAWSに 移行する方法： もっと早く知りたかった 納得のソリューションとは



目次

SAPのクラウドへの移行には犠牲が付きもの

3



二兎を追って二兎を得る

4



パフォーマンスと信頼性で妥協しない

5



プロジェクトをスピードアップして運用をすばやく開始

7



クラウド移行の目標をレベルアップ°

8

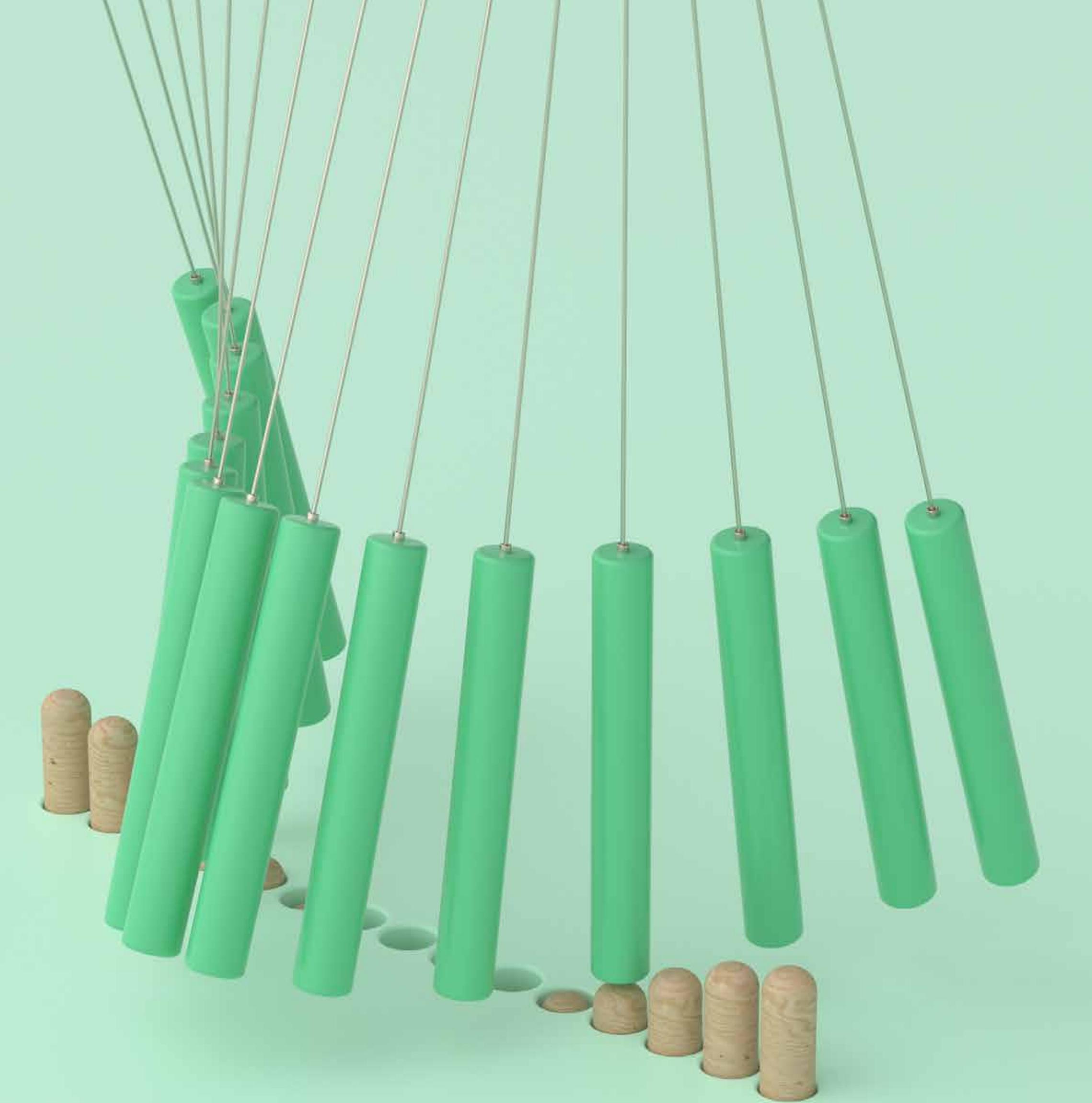


SAPのクラウドへの移行には犠牲が付きもの

SAPベースの基幹業務アプリケーションは、世界中の大企業を支える存在として、年に何兆ドルもの取引の処理にかかわっています。万一、SAPランドスケープが停止してダウンタイムが発生すれば、企業にとって大きな痛手となりかねないでしょう。「触らぬ神にたたりなし」という先人たちの教えに従い、多くの企業は細かく調整された導入環境を変更したがりません。

残念ながら企業各社には、もはや現状維持という選択肢は残されておらず、ITインフラと各種サービスをクラウドに移行するよう、多くのビジネスリーダーによって至上命令が下されています。そこに追い打ちをかけているのが、HANA以外のデータベースを使用したSAP ECCの運用のサポート終了が急速に近づいていることです¹。引き続きSAPのサポートを受け、最新のSAPソフトウェアを利用するには、2027年までにS/4HANAに移行する必要があります。一般にSAPの移行には1年半以上かかる事を考慮すれば、タイムリミットは思った以上に近いと考えたほうがいいでしょう。

SAP S/4HANAをクラウドに移行すると、即応性が増し、開発作業のスピードが上がって、運用開始までの時間を短縮できるというメリットがあります。一方でデメリットもあります。クラウドへの移行には時間がかかり、リスクを伴うのです。せっかくSAPアプリケーションをクラウドに移行したにもかかわらず、多くの企業が期待どおりの結果を出せていないのも現実です。こうした企業はパフォーマンスとスケーラビリティの低さに悩まされ、SAPランドスケープで求められる、スピードと柔軟性、高可用性を兼ね備えた安定した環境の実現に苦心しています。



二兎を追って二兎を得る

Amazon FSx for NetApp ONTAPはSAPの移行の救世主です。AWSによって販売、管理、サポートされるFSx for ONTAPは、あらゆるお客様のパフォーマンス、データ保護、効率性のニーズに応えます。必要なデータ可用性とアクセス性、セキュリティ機能のすべてがAWSのネイティブ エクスペリエンス内でまとめて提供され、包括的なネットアップ ポートフォリオの利用が可能です。それだけでなく、FSx for ONTAPはSAP HANA認定を取得しているため、SAPの既存のランドスケープを、リスクを抑えながら柔軟かつ安全に移行できます。

移行のリスクを抑え、プロセスをシンプルにするには、クラウドへの適切な移行方法を見つけることが重要です。SAPランドスケープをAmazon FSx for NetApp ONTAPに移行するには、主に4つの方法があります。



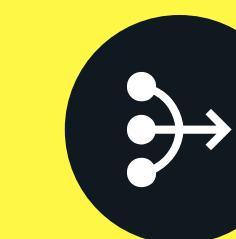
1. リフト アンド シフト

既存の環境を（古いアーキテクチャも含めて）そのままクラウドに移植して運用を開始します（リフト）。その後、クラウド内でSAP S/4HANAランドスケープへのアップグレード プロセスに着手します（シフト）。



2. リフト アンド マイグレート

既存の環境でクレンジングを行い、更新プログラムを適用し、古いデータを削除したあと、クリーンアップされたアーキテクチャをクラウドに移植します（リフト）。すでにSAP HANAへの転換が済んでいる場合には、クラウドでのSAP S/4HANA ランドスケープの構築と移行（マイグレート）に着手しましょう。まずはSAPの運用モデルの刷新と安定化に取り組みます²。



3. シフト アンド マイグレート

既存のシステムを直接クラウドに移行し（シフト）、一部またはすべてをSAP HANAにアップグレードすると同時に、新しい運用モデルを完成させます（マイグレート）。



4. クラウド上のS/4HANAに直接移行

クラウドを採用し、SAP S/4HANAを新規導入して移行すると同時に、新しい運用モデルを完成させます。



パフォーマンスと信頼性で妥協しない

パブリック クラウドでは運用のシンプルさと即応性が約束されているとはいえ、ビジネス クリティカルなアプリケーションのクラウドへの移行に対し、多くのインフラ アーキテクトは消極的です。一般に、クラウドインフラはエンタープライズ データを管理するための機能や仕組みを備えていません。そのため、パフォーマンスの制約やSLA、セキュリティの不安があるほか、データ損失の恐れもあります。

Amazon FSx for NetApp ONTAPでは、NetApp ONTAP®データ管理ソフトウェアのすべての機能とAWSのネイティブなマネージド サービスを組み合わせることにより、ハイブリッド クラウド全体で常に一貫したエクスペリエンスを提供します。エンタープライズクラスの管理機能やレイテンシが1ミリ秒未満の優れたパフォーマンス、実績あるデータ保護機能といった、自社のデータセンターでのエクスペリエンスをそのまま、FSx for ONTAPでも実現することが可能です。

FSx for ONTAPを使用すれば、高度なパフォーマンスを必要とし、レイテンシの影響を受けやすいアプリケーションを自由にクラウドに移行し、1ミリ秒未満の応答時間とノード障害への保護対策の恩恵を受けながら、クラウドベースでSAPの本番環境を運用できます。



AWSのネイティブ サービスであるFSx for ONTAPなら、優れた信頼性と99.99%の可用性が保証され、自らクラウド インフラを構築したり管理したりする必要もありません。また、パフォーマンスに一切影響を与えないNetApp Snapshot™テクノロジによって、SAPデータをわずか数分で効率的にバックアップし、必要に応じてほぼ瞬時に、データを任意の時点にリカバリすることが可能です。

FSx for ONTAPではアベイラビリティ ゾーン内の高可用性（HA）機能がサポートされます。また、サイト障害に備えてデータのセカンダリ コピーを作成する必要がある場合には、統合レプリケーション ソリューションのNetApp SnapMirror®を使用して、アベイラビリティ ゾーン間でデータを複製することもできます。SnapMirrorは離れた場所にある2つのONTAPシステム間で、データをレプリケートする機能を提供します。SnapMirrorは、別のFSx for ONTAPシステムにデータを自動でレプリケートするように設定しておくことができます。複製先のシステムは別のAWSリージョン内にあってもかまいません。

開発サイクルは、開発やテスト プロジェクトのために本番用データベースのコピーを作成する作業によって、数日延びてしまうこともあります。FSx for ONTAPに組み込まれたクローニング テクノロジを使用すれば、どれほど大容量のデータベースも、わずか数秒で複製できます。各クローンはSnapshotイメージをベースとして作成され、メタデータを書き込む少量のスペース以外はストレージを消費しません。そのため、本番環境のデータベースのクローンを必要なだけいくつでも作成することが可能です。テストや処理によってデータが壊れても、すぐに新しいクローンを準備してテストをやり直せます。

「データ管理とストレージに関する、ネットアップの独自の考え方が気に入っています。環境が複雑化するなか、シンプルさを追求するネットアップの姿勢は非常に貴重です」



大手サービス プロバイダでSAPのテクニカル サポートを担当するシニア エキスパート



プロジェクトをスピード アップして 運用をすばやく開始

クラウドが選択肢の1つにすぎなかった初期のころ、クラウドを導入する企業の多くは即応性とパフォーマンスのどちらかを選ばなければなりませんでした。当時の標準的なパブリック クラウド インフラは、大規模ランドスケープの運用に耐えられるだけのスループットを備えていません。そのため従来は、クラウドベースのSAPのユースケースと言えば、PoC（コンセプトの実証）プロジェクト用のSAPランドスケープやデータストアリカバリ対策、小規模な本番用ランドスケープに限られていました。

Amazon FSx for NetApp ONTAPは高速かつ一貫したパフォーマンスを備え、負荷の高いデータベース ワークロードの運用要件を満たす、きわめて可用性の高い共有ストレージへのアクセスを提供します。また、利用頻度の高い各種データベース機能もサポートされ、NetApp SnapCenter®ソフトウェアを使用して、アプリケーションと整合性のあるSnapshotコピーを作成するほか、NetApp FlexClone®のデータ ボリュームや継続的に利用できるSMB共有、SAPの共有ファイルやインターフェイス ディレクトリに関して使用される瞬時のファイル初期化といった機能も利用可能です。

ネットアップ テクノロジを使用すれば、オンプレミスのサーバからAWSに、データのバックアップやアーカイブ、レプリケートを簡単に行えます。FSx for ONTAPではファイルシステム内の全ボリュームについて、永続的な保存に適したデータのバックアップが日常的に自動で作成されます。お客様のニーズに応じて、バックアップを任意のタイミングで追加作成することも可能です。このシステムでは、クラウドベースのデータストアリカバリ、コンプライアンス、データ主権に関する組み込みの機能を使用してビジネスの継続性が維持されます。

オンプレミスに匹敵する高速なパフォーマンス Amazon FSx for NetApp ONTAPは、きわめて負荷の高いSAPワークロードを運用するのに十分な、優れたパフォーマンスを提供します。



クラウド移行の目標をレベル アップ[®]

より多くのデータベース ワークロードをクラウドに移行する一方で、企業はさらなる効率化と競争力の向上を目指しています。こうした目標を達成するには、アプリケーションが期待どおりのパフォーマンスを発揮できなければなりません。そこで効果的なのが、業務環境全体に同じONTAPテクノロジを導入することです。Amazon FSx for NetApp ONTAPを利用すれば、クラウドの導入やプロジェクトを成功させるために、事前にそれほど綿密な計画は必要ありません。FSx for ONTAPでは、自社のデータを安全かつ確実に保存し、手間をかけずにワークロードをスピード アップするとともに、よりインテリジェントに最新技術を取り入れることができます。

FSx for ONTAPは、SAPランドスケープに求められる優れたパフォーマンスと信頼性、エンタープライズレベルのデータ管理機能を完備した、SAP HANA公認のストレージ ソリューションです。AWSによって販売、管理、サポートされるFSx for ONTAPは、高速なパフォーマンス、データ保護機能、効率性の提供を通じて、SAPの運用の最適化を後押しします。コンピューティング、セキュリティ、監視、データ管理といった必要なサービスをすべて集約し、包括的なネットアップ ポートフォリオと組み合わせて提供します。



自社のSAPランドスケープをクラウドに移行するにあたり、
Amazon FSx for NetApp ONTAPがいかに有益であるかを
今すぐご確認ください。

- [AWSのスペシャリストとの面談を予約する](#)
- [AWS for SAP HANAの概要を知る](#)
- [FSx for ONTAPの概要を知る](#)
- [FSx for ONTAPの利用を始める](#)



ネットアップについて

ジェネラリストが多い世界で、ネットアップはスペシャリストとしての存在感を示しています。お客様がデータを最大限に活用できるようにすることを1つの目標として、支援に全力を注いでいます。ネットアップは、信頼できるエンタープライズクラスのデータ サービスをクラウドにもたらし、またクラウドのシンプルな柔軟性をデータセンターにもたらします。業界をリードするネットアップのソリューションは、さまざまなお客様の環境や業界最大手のパブリック クラウドに対応します。

クラウド主導のData-Centricなソフトウェア企業であるネットアップは、お客様に最適なデータ フアブリックの構築をサポートし、クラウド対応をシンプルに実現し、必要なデータ、サービス、アプリケーションを適切なユーザにいつでも、どこからでもセキュアに提供できる唯一のベンダーです。



+81-3-6870-7400

© 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. NetApp、NetAppのロゴ、<https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。 NA-840-0522-jaJP